

SUPERBIKE

EXtra, EXpert and EXtreme

EXPRESS--



QUALIFYING PRACTICE & Race 1 [REPORT & INTERVIEW]

約3年ぶりに筑波に帰ってきた全日本ロードレース 2レース制となったJ-GP2クラス レース1を制した浦本修充がダブルウィンを狙う!

2016年シーズンの全日本ロードレース選手権が茨城県・筑波サーキットで開幕した。筑波での全日本は、休止や昨年の水害の影響もあり、実に約3年振りの開催となる。今回は、J-GP2クラスを2レース、J-GP3クラス、ST600クラスに加え、新しいカテゴリーとなるMFJ CUP JP250を初めて開催した。

J-GP2クラスは、2014、2015年チャンピオンの高橋裕紀がJSB1000クラスにスイッチしたためゼッケン1不在のシーズンとなるが、他のクラスからのスイッチ、チームを移籍したり、新体制になったりと話題にこと欠かないシーズンインとなっている。中でも、今シーズンよりTeam KAGAYAMA入りし、JSB1000クラスからスイッチした浦本修充が前週に行われた事前テストから好調。また、水野涼、國峰琢磨、三原壮紫といったJ-GP3クラスからステップアップしたライダーも元気のいい走りを見せていた。対して迎え撃つ継続参戦組では、4年連続ランキング2位の生形秀之が事前テストでは、トップタイムをマーク。新体制となった岩崎哲朗もタイヤをビレリにスイッチし、ハイアベレージで走っていた。

レースウィークに入り金曜日の走行では、浦本がトップタイムをマークし期待通りの走りを見せ、水野、生形、國峰、関口太郎、岩崎と事前テストと同じメンバーが上位を占めていた。

公式予選は、40分間の計時予選とJ-GP2クラスでは初となるスーパーポールで行われた。計時

予選でレース1の11番手以下と日曜日のレース2グリッドが決定。計時予選のトップ10がスーパーポールに進出し、レース1のトップ10が1周のタイムアタックで争われた。

事前テストでは生形が57秒163をマークしておりトップは56秒台に入るのではと思われたが、計時予選では、浦本のマークした57秒291がトップとなり、レース2のポールポジションを獲得。國峰、水野、岩崎、生形、三原、関口、石塚健、渥美心、井筒仁康と続きスーパーポールに駒を進めた。スーパーポールでは、渥美がまず57秒台に入れてくる。これを岩崎が破り、最後のアタックとなった浦本がコンマ2秒届かず2番手となった瞬間、岩崎のレース1でのポールポジションが確定した。

20周とやや短い周回数で争われたレース1。2番手グリッドからスタートした浦本がホールショットを奪い、渥美、岩崎、関口と続いて行けど、オープニングラップを制したのは渥美だった。以下、浦本、岩崎、関口、生形、井筒、三原、石塚、長尾健吾、水野、作本輝介、日浦大治朗の順で2周目に突入して行く。渥美は、ハイペースで飛ばし、これを浦本が追う展開となる。3位争いは、岩崎、関口、井筒、三原、生形、國峰、石塚が繰り広げていた。安定した速さを見せていた水野は、スタートで出遅れると追いつけていた4周目に転倒を喫してしまう。

その後もトップ争いは、渥美がレースをリードし、浦本がマークする展開が続く、レース終盤となった17周目に渥美が自己ベストを更新する走りでも浦本

を引き離しにかかるのだが…。18周目の1コーナーに入ったところで渥美のマシンにトラブルが発生してしまい失速。そのままS字コーナーのイン側にマシンを止め悔しいリタイアとなってしまった。これで単独トップとなった浦本は、そのままチェッカーフラッグを受け今シーズン最初のレースを制した。3位争いから2位争いとなった集団は、最終ラップの1コーナーで関口をかわした國峰が4番手に浮上。最終コーナー進入で、岩崎のインに三原が、これに國峰も続き、三原、國峰、岩崎、関口、生形の順でゴール。Team NOBBYのティーンズライダーが2、3位に入る健闘を見せた。

レース2も20周で争われる。浦本がダブルウインを達成するか!? 渥美が巻き返すか!? それとも若手が台頭するか!? 実力伯仲のJ-GP2クラスで表彰台の中央に上がるのは誰だ!



J-GP2クラス初開催となったスーパーポールでベストタイムをマーク。ポールポジションが確定した直後の岩崎哲朗。レース1は悔しい結果となっただけにレース2で巻き返したいところだ。



Race 2 POLE POSITION INTERVIEW



RACE 2 ポールポジション: 57秒291
RACE 1 優勝 #94 浦本修充
Team KAGAYAMA

「土曜日は公式予選、スーパーボール、そして第1レースが立て続けにあって、集中力を保つのが大変でしたが、レース2はポールポジション、レース1で優勝と結果的にいい土曜日になりました。絶対勝ちたい気持ちは強かったですが、すごくリラックスできていました。これも事前テストからチームがいいバイクに仕上げてくれたおかげです。これ以上ないスタートが切れましたが、日曜日にはレース2があるので気を引き締めて臨みたいです」



SUPERBIKE EXPRESS 2016 VOL.1 TSUKUBA... J-GP3 CLASS... QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW



栗原佳祐が、ただ一人59秒台でポールポジションを獲得!
「優勝はもちろん、その内容にもこだわってレースに臨みます」



ポールポジション: 59秒906
#634 栗原佳祐
MuSASHi RT ハルク・プロ

「目標は常に高くもっていたのですが、気合いが空回りしてしまい、走りのリズムを崩してしまっていました。コーナーの進入が深すぎて、立ち上がりの加速を十分に伸ばせていませんでした。セッション中は、後ろに5台もマークされたことも初めての経験でした。予選で悪かった点は、分かっているので決勝でいい走りをして、目標タイムに近づけるようにしたいです。優勝はもちろん、その内容にもこだわってレースに臨みます」

ST 600
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW



中山真太郎が全日本初ポールをゲット! 「まさか自分がポールポジションを獲得できるなんて」



ポールポジション:58秒208
#19 中山真太郎
TEAMしんたろうwith KRT

「自己ベストをマークできましたし、マシンもよく曲がりますし、いい調子ですが、まさか自分がポールポジションを獲得とは思っていませんでした。全日本では表彰台に上がることが目標ですから、決勝でも優勝したいかと思っていません。欲をかくと痛い目に遭うことは少々経験してきましたから。レースでは必ずチェッカーフラッグを受けたいですね」



JP 250 Presented by
DUNLOP
QUALIFYING & RACE
REPORT & INTERVIEW

54台が予選に出走。初開催のMFJ CUP JP250 激戦を制したのはAP250チャンプ山本剛大

2組に分かれて行われた公式予選は、1分06秒176をマークした山本剛大。2番手に2分06秒188の南本宗一郎が続ぎ、AP250に参戦している2人が1-2。3番手に中沢寿寛、4番手にスポット参戦の元世界チャンピオン・現オートレーサーの青木治親が1分06秒357で続いた。以下、11番手まで1分06秒台をマークするハイレベルな予選となった。

序盤は山本、南本、中沢、そして青木がトップグループを形成。10年振りのロードレースという青木だったが、一時はトップに立つ走りを見せるが、アジアコーナー立ち上がりで痛恨の転倒。観客席からはため息ももれる。

レース終盤になると山本に南本と仲村優佑のアケノスピードコンビが襲いかかるが、これをかわした山本がトップでチェッカー。最終ラップの最終コーナーでは、南本と仲村がまさかの接触転倒。2位に中沢、3位にナショナルトップとなる武佐英典、4位に田中敬秀と続いた。

決勝正式結果

●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走35台

Pos No	Name	Team	Total Time
1	21 山本 剛大	TRICK STAR Racing	13'29.031
2	1 中沢 寿寛	モトレーシング&KYOEI	13'29.545
3	63 武佐 英典	Dog Fight Racing+YMプロジェクト	13'29.807
4	2 田中 敬秀	7CエムズホームMISSION MOVERS	13'30.179
5	13 藤村 太誠	TRICKSTARRacing	13'38.196
6	20 笠井 悠太	TEAM TEC.2	13'38.264
7	44 M.SARAPUECH	APHONDAx56DESIGN SPORT	13'38.549
8	77 豊島 怜	Team NAP'S	13'38.549
9	35 小椋 華恋	キジマKISSレーシングチーム	13'38.759
10	24 杉山 優輝	OVERLAP PLUSONE	13'39.351
11	3 藤井 岳	TGR&Gsense&RP馬行	13'39.790
12	11 兵藤 龍之介	TRICK STAR Racing	13'39.790
13	19 中川 実	MOTO BUM	13'39.952
14	56 櫻井 芽依	56DESIGN SPORT	13'40.115
15	10 東浦 正周	プラスミュ&YSP西東京	13'40.430
16	22 橋本 翼	51ガレージチームイワキ	13'41.305
17	27 石井 千優	Team千葉北☆N-PLAN	13'41.437
18	97 佐野 優人	TEAM-BATTLE	13'42.169
19	18 阿部 徹郎	PJ1・あべスピ・ヤマハ&ガレージL8	13'42.471
20	33 上原 大輝	K-maxレーシング	13'47.394
21	30 前田 龍哉	伊藤レーシングGMDスズカ	13'47.713
22	5 内山 智彦	R☆H☆P+DEVIL EVOLUTION JAPAN	13'48.759

23	31 横山 尚太	RT森のくまさん佐藤塾&ガレージL8	13'50.771
24	71 大谷 朋之	R☆H☆P+Neutral+WAKO'S+YSS	13'50.871
25	9 中村 裕哉	ファイヤーガレージ	13'51.084
26	86 新垣 敏之	Team DARA 虎の穴	13'51.314
27	43 菊地 平	TEAM-WILD☆HEART	13'53.435
28	14 小澤 俊輝	CLUBマバルR+モトバランス	14'07.787
29	88 仲村 優佑	アケノスピード・YAMAHA	15'18.215

***** 以上チェッカー *****

30	55 南本 宗一郎	アケノスピード・YAMAHA	12'22.348
----	-----------	----------------	-----------

***** 以上完走 (Int: 9Laps / Nat: 9Laps) *****

61	折川 翔馬	DOG FIGHT RACING&JDS	9'08.090
90	中村 修一郎	テルル・スガハラレーシング	8'58.138
12	青木 治親	AutoRace&TC with TEAM Norick	3'26.271
4	吉澤 隆	CLUB KENJIN★ベントグラム&プラスミュ	1'15.794
45	岸田 尊陽	SPEED SHOP FUSE	
69	薄井 徹也	AAA+MSK+WM+az+iwai+T.Pro	

Fastest Lap

Int1'06.375 (8 / 12)	仲村 優佑 / アケノスピード・YAMAHA
Nat1'06.727 (9 / 12)	田中 敬秀 / 7CエムズホームMISSION MOVERS
Start Time :13:23'08	Finish Time :13:36'37.031
Entry :56 Start :35	Finish :30



MFJ All Japan Road Racing Championship Rd.1 in TSUKUBA 9 - 10 April 2016 公式予選結果



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走22台
●決勝第2レース スタート/13:55 (20周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	94	浦本 修充	Team KAGAYAMA	GSX-proto71	57.291
2	55	國峰 琢磨	H43 Team-NOBBY	HP6-q	57.469
3	634	水野 涼	MuSASHiRT/ハルク・プロ	HP6-q	57.485
4	70	岩崎 哲朗	OGURAcLutch with パワービルダー	ZX-6R	57.572
5	2	生形 秀之	エスバリスドリームレーシング	GSX-R MFD6	57.655
6	74	三原 壮紫	H43 Team-NOBBY	HP6-q	57.673
7	44	関口 太郎	MISTRESA with HARC-PRO.	HP6	57.678
8	17	石塚 健	Willraiseracing-RS-ITOH	ZX-6R	57.743
9	90	瀧美 心	au&テルル・Kohara RT	TSR2	57.777
10	11	井筒 仁康	Willraiseracing-RSITOH	ZX-6R	57.819
11	8	大木 崇行	MOTO BUM+虎の穴	CBR600RR	57.857
12	81	上和田 拓海	Webike チームノリックヤマハ	YZW-N6	57.962
13	10	佐藤 太紀	au&テルル・Kohara RT	TSR6	58.040
14	392	長尾 健吾	ミクニ テリー&カリー	GSX-R600	58.099
15	30	高橋 颯	CLUB PLUSONE	HP6	58.265
16	46	日浦 大治朗	MORIWAKI RACING	MD600	58.342
17	56	中本 郡	SYNCEEDGE 4413 備前精機	HP6	58.366
18	15	作本 輝介	Team高武 RSC	MD600	58.663
19	39	柴田 陸樹	RS-ITOH&AUTOBOY	ZX-6R	58.745
20	45	古山 颯太	MotoPod&YSP名古屋西	YZF-R6GK	59.426
21	19	赤間 清	MISTRESA with HARC-PRO.	HP6	59.961
22	32	Max Croker	チーム ヨシハル&K1Racing	FTR	1'02.437

***** 以上予選通過 *****

31 岡本 裕生 Webike チームノリックヤマハ YZW-N6 出走せず
予選通過基準タイム(1'03.020 - 110%)

Rマークは、コースレコードを更新しました。従来のレコードタイムは 57.376"

★J-GP2決勝第2レースのスターティンググリッドは、計時セッションにて記録されたタイム順です。



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走21台
●決勝スタート/10:20 (25周)

Pos	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	634		栗原 佳祐	MuSASHi RT /ハルク・プロ	NSF250R	59.906
2	56		小室 旭	Team P.MU 7C	NSF250R	1'00.123
3	36		徳留 真紀	CLUB PLUSONE	NSF250R	1'00.167
4	7		古市 右京	KTM Racing.ASPIRATION	RC250R	1'00.482
5	410		宇井 陽一	41Planning	TR003	1'00.519
6	31 Y		伊達 悠太	BATTLE FACTORY	NSF250R	1'00.546
7	11 Y		関野 海斗	Team P.MU 7C	NSF250R	1'00.615
8	45 Y		太田 虎之進	CLUB PLUSONE	NSF250R	1'00.630
9	10 Y		船田 俊希	FLEX Racing TEAM	NSF250R	1'00.716
10	41 Y		佐藤 勲	41Planning	NSF250R	1'00.858
11	8		安村 武志	犬の乳酸菌/プリミティブR.T	PRCS3C	1'00.906
12	15		高杉 奈緒子	41Planning	NSF250R	1'00.951
13	12		菊池 寛幸	H43 Team-NOBBY&ウイリー	NSF250R	1'01.000
14	13		岡崎 静寛	UQ&テルル・Kohara RT	TSR3	1'01.010
15	18		山本 恭裕	チームライブ・ドリーム北九州	NSF250R	1'01.106
16	32 Y		佐野 勝人	犬の乳酸菌/プリミティブR.T	PRCS3a	1'01.135
17	21 Y		中山 愛理	TEAM PLUSONE	NSF250R	1'01.172
18	33 Y		長谷川 聖	CLUBY's&J-BATTLE	NSF250R	1'02.138
19	24		畑中 要	FTR・タイヤナビ・遠藤住宅	NSF250R	1'02.553
20	77		野澤 秀典	ノザワレーシングファミリー	NSF250R	1'02.557
21	99		白石 玲菜	Team Reina with O-TEC SUZUKA	NSF250R	1'02.824

***** 以上予選通過 *****

26 川瀬 啓一郎 チームKOHASAKA NSF250R 出走せず
予選通過基準タイム(1'05.896 - 110%)



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走37台
●決勝スタート/11:25 (25周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	19	中山 真太郎	TEAMしんたろうwith KRT	CBR600RR	58.208
2	9	榎戸 育寛	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	58.237
3	8	岩戸 亮介	Team高武 RSC	CBR600RR	58.309
4	65	Chalermpol POLAMAI	Yamaha Thailand Racing Team	YZF-R6	58.473
5	85	松崎 克哉	RS-ITOH&能塚	ZX-6R	58.507
6	73	名越 哲平	MuSASHi RT Jr.	CBR600RR	58.585
7	5	前田 恵助	伊藤レーシングGMDスズカ	YZF-R6	58.639
8	20	清末 尚樹	RS-ITOH	ZX-6R	58.681
9	2	Decha KRAISART	Yamaha Thailand Racing Team	YZF-R6	58.851
10	57	高橋 英倫	桜プロジェクトwithアクタホールディングス&MF	ZX-6R	58.871
11	14	伊藤 和輝	UQ&テルル・Kohara RT	CBR600RR	58.933
12	74	奥野 翼	AKENO SPEED・YAMAHA	YZF-R6	58.979
13	43	亀井 雄大	Honda鈴鹿レーシングチーム	CBR600RR	58.908
14	76	和田 留佳	RS-ITOH&サンタバイク	ZX-6R	59.049
15	23	津田 一磨	AKENO SPEED	YZF-R6	59.080
16	41	田所 隼	TEAM PLUSONE	CBR600RR	59.112
17	40	山元 聖	51ガレージチームイワキ	YZF-R6	59.132
18	44	松川 泰宏	MOTO BUM+SAI	CBR600RR	59.153
19	47	豊田 浩史	D:REX Racing Team	YZF-R6	59.164
20	28	北岡 慎也	伊藤レーシングGMDスズカ	YZF-R6	59.227
21	42	名越 公助	GBSレーシング マツエ7 YAMAHA	YZF-R6	59.255
22	70	木村 思音	中村エンジン研究所&焼肉和光	CBR600RR	59.390
23	37	鈴木 力	MOTOBUM HONDA	CBR600RR	59.399
24	46	星野 知也	TEAM PLUSONE	CBR600RR	59.485
25	39	中村 豊	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	59.556
26	51	宗和 孝宏	51ガレージチームイワキ	YZF-R6	59.560
27	55	谷津 裕亮	ENDLESS TEAM SHANTI	CBR600RR	59.623
28	27	森中 忍	GBSレーシング YAMAHA	YZF-R6	59.687
29	31	澤村 俊紀	HondaDream高崎B'WISERT中央前橋	CBR600RR	59.954
30	35	櫻井 賢一	HondaDream高崎B'WISERT中央前橋	CBR600RR	59.983

***** 以上予選通過 *****

31	60	宮脇 寿郎	ファイヤーワークス北関東SPEED Party	ZX-6R	59.987
32	32	長崎 修一	大道建設モトアルファ	CBR600RR	1'00.320
33	91	中山 智博	Team91&孫悟空	ZX-6R	1'00.483
34	67	熊谷 健志	RP馬行 ARROWS狭山店	CBR600RR	1'00.484
35	50	藤道 達夫	GBSレーシング YAMAHA	YZF-R6	1'00.610
36	75	高岡 寛之	DOG FIGHT RACING&winglove根八	YZF-R6	1'00.723
37	80	稲川 貴志	常夏factory&稲川塾with PB	CBR600RR	1'00.810

予選通過基準タイム(1'04.028 - 110%)

4月9日(土)開催/決勝第1レース



決勝第1レース結果

●天候/晴 路面/ドライ 出走22台
●決勝周回数/20周

Pos	No.	Name	Team	Type	Lap	Total Time
1	94	浦本 修充	Team KAGAYAMA	GSX-proto71	20	19'22.524
2	74	三原 壮紫	H43 Team-NOBBY	HP6-q	20	19'23.755
3	55	國峰 琢磨	H43 Team-NOBBY	HP6-q	20	19'24.588
4	70	岩崎 哲朗	OGURAcLutch with パワービルダー	ZX-6R	20	19'24.656
5	44	関口 太郎	MISTRESA with HARC-PRO.	HP6	20	19'24.841
6	2	生形 秀之	エスバリスドリームレーシング	GSX-R MFD6	20	19'25.065
7	11	井筒 仁康	Willraiseracing-RSITOH	ZX-6R	20	19'26.949
8	17	石塚 健	Willraiseracing-RS-ITOH	ZX-6R	20	19'27.008
9	8	大木 崇行	MOTO BUM+虎の穴	CBR600RR	20	19'32.111
10	392	長尾 健吾	ミクニ テリー&カリー	GSX-R600	20	19'34.010
11	81	上和田 拓海	Webike チームノリックヤマハ	YZW-N6	20	19'40.549
12	10	佐藤 太紀	au&テルル・Kohara RT	TSR6	20	19'42.637
13	15	作本 輝介	Team高武 RSC	MD600	20	19'45.701
14	56	中本 郡	SYNCEEDGE 4413 備前精機	HP6	20	19'46.159
15	45	古山 颯太	MotoPod&YSP名古屋西	YZF-R6GK	20	19'49.778
16	39	柴田 陸樹	RS-ITOH&AUTOBOY	ZX-6R	20	20'01.283
17	19	赤間 清	MISTRESA with HARC-PRO.	HP6	20	20'18.375
18	32	Max Croker	チーム ヨシハル & K1Racing	FTR	18	19'31.797

***** 以上チェッカー *****

19 90 瀧美 心 au&テルル・Kohara RT TSR2 17 16'27.049
***** 以上完走 (15Laps) *****

30 高橋 颯 CLUB PLUSONE HP6 14 19'58.913
634 水野 涼 MuSASHiRT/ハルク・プロ HP6-q 12 13'41.462
46 日浦 大治朗 MORIWAKI RACING MD600 6 5'58.960

Fastest Lap

57.402 (6 / 20) 129.821 km/h #55 國峰 琢磨 / H43 Team-NOBBY

Start Time :14:29'46 Finish Time :14:49'08.524

Entry :23 Start :22 Finish :19

INFORMATION



番組タイトル一新! 2輪・4輪全ての
モータースポーツファン向け帯番組

●無料BSチャンネル「BS12 トゥエルビ」でシリーズ全9戦を放映!

●JP250「MFJカップシリーズ」全6戦のダイジェストを単独番組で3回放映!

★詳しい放映スケジュールはファンサイトで!

第1戦筑波大会放映スケジュール

4月16日(土) 19:00~



大きく変わるインターネットライブ中継!



サーキットの場内監視(ボスト)映像に外部カメラ映像をプラスし、新システムで「MFJライブチャンネル」にて配信。より充実した中継配信を目指します。※通信環境によりテレビ配信となる場合もあります

YouTube

YouTube「MFJ SUPERBIKE オフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信!

詳しくはファンサイトで → <http://superbike.jp/>

